

# 恵みと真理のニュース



2016年1月の五次 恵みと真理教会

韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net



## [証]

**私の祈りを聞いてくださって体質を健康に変えてくださり、家も与えて下さり、教会を支え福音伝道のため献身する主の働き者として用いられるように立たせてくださった神様に感謝します。”**

“わたしの名によって願うことは、何でもかなえてあげよう。こうして、父は子によって栄光をお受けになる。わたしの名によって何かを願うならば、わたしがかなえてあげよう。”(ヨハネの福音書14:13,14)ハレルヤ!

幼い頃から皮膚病で苦労しました。皮膚が鋭敏して少しでも体質に合わない食べ物を食べたり清潔ではない所に行くとじんましん出来て痛かったです。様々な薬を飲んでも皮膚に塗りましたが効果がなかったです。

イエスキリストを信じて受け入れ信仰生活を始めた以後、神癒の恵を願いながら神様に祈りました。区域礼拝でも聖徒達に頼んで私の体質が変わるように祈りました。祝福聖会が開いた日、礼拝が終わって当会長牧師が私を祝福しながら体が健康になるように祈ってくださいました。そして、教会で奉仕し熱心に信仰生活をする間に症状が徐々によくなり皮膚がきれいになりじんましんもなくなりました。神様が癒しの恵を与

えてくださって体質が変わり心と体が健康にしてくださいました。権能の神様が癒してくださいって健康な体でもっとも熱心に主を支えるようになりました。

私は新しい家のため神様に祈りました。私の家で聖徒が集まって区域礼拝を楽しくささげるように引っ越しする家の規模を自分なりに決めて祈っている時に引越すようになりました。教会で近いところで住むのを願ってあちこち探すうちに新しく建てたアパートを買いました。5年間の契約期間までは借りて3年後には分譲を受ける良い条件でした。とても嬉しかったです。ところが私が引越してもまもなくこのアパートの建設会社が他のアパートを工事を進行する中で不渡りになりました。その理由で初めの入住条件と違って強制分譲する事になりました。

銀行でお金を借りてアパートに入った私達には焦りました。借りたお金も返してもらえないというわさもあって不安で寝れない日が続きました。

この状況で礼拝に参席したとき、当会長牧師は祈りの原理を対して説教をしてくださいました。私達が難しい問題にあったとき神様に委ねる一方私達がすることは最善を尽くすべきだと説教しました。事毎に最善を尽くして神様の能力で奇跡を体験するように神様の御言葉によって祈り、信仰で祈って貪欲を捨て切ない心で祈るように言われました。

私は御言葉を聞いて“家を求めながら人間的な考えで早急に自分の心で決定したのではないかと思いました。神様の御心を求め神様の時を待つべきだったのかに決定したのではないかと悔い改めて祈りました。切

に祈ると問題が解決するように知恵も与えて下さる神様を願い摂理と導きで結局良い道で結末が出るように切に祈りました。そんな私の心に神様は慰めと平安を与えて大胆にしてください知恵を下さいました。神様が下さる知恵で結局全ての問題が解決され、本当に願っていた通り30坪の大きいアパートで引越す事が出来ました。主の恵の家なので主が主人になりこの家庭に入る全ての人々に主の恵が望むように祈ります。

あの寝れなくて苦しかった時間が過ぎて私はもっと神様を恐れ頼り愛するようになって全てのことに感謝で祈ります。神様の御心を聴き神様が下さる知恵で進行するようになりました。常に大胆な信仰を持ってもっと真面目で忠誠する姿勢で主の事に力を尽くすようになりました。神様の愛と恵に感謝します。

どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。(フィリピの信徒への手紙4:6,7)

御言葉の教訓を従ってどんな苦難が来ても 思い煩うのはやめて私の全ての人生を導いてくださる神様だけ委ねる生活をします。救いを受け礼拝を捧げる事だけでも嬉しい限りですし、祈りに答えてくださって時ことに助けて協力して下さる恵を与えるのでその恵と愛数え切れません。ハレルヤ!



## [信仰コラム]

### わたしとキリストの関係

“わたしはキリストによって共に十字架につけられた。生きているのは、もはや、わたしではない。キリストが、わたしたちのうちに生きておられるのである。しかし、わたしがいま肉にあって生きているのは、わたしを愛し、わたしのためにご自身をささげられた神の御子を信じる信仰によって、生きているのである。”(ガラテア人への手紙2:20)

どんな人が質問することを“あなたはイエス・キリストを知りますか? 知っていたら、どんな関係ですか?”としたら皆さんはどう返事しますか? この質問について本文の言葉をその答えにできる人は真実に恵まれた人です。

まず、“わたしはキリストによって共に十字架につけられた。”という言葉をご覧ください。

“わたしはキリストによって共に十字架につけられた”。これがキリストを信じ前と信じた後の最も大きく、確実な違いであり、根本的な違いです。すべての人はアダムの子孫として、アダムから生命を受け継ぐことと同時にアダムの犯罪による罪ある本性も受け継ぎます。アダムの中で全ての人が罪人になっており、罪によって死亡がきており、結局、永遠の滅亡に立たされる絶望的な運命に落ちてしまいました。しかし、神様の恩恵がイエス・キリストの中で現れました。これはイエス・キリストの中で罪を許されて義人としてなり、永生を得ることになる驚くべき恩恵です。アダムの犯罪によってその子孫たちが罪人になって滅

亡することになる代表者原理が救援を得させる原理でも適用されました。アダムの中にいる人がキリストの中で位置を移すことこれが解決策です。キリストを信じる人は・キリストが十字架を背負られなかった時キリストの中にいたものとみなされます。“わたしはキリストによって共に十字架につけられた”と告白する人は律法と罪と死亡の法から解放された感激と喜びで満ちた生活をする事ができます。

次は、“生きているのは、もはや、わたしではない。キリストが、わたしたちのうちに生きておられるのである。”という言葉をご覧ください。

イエス・キリストを信じなければ本質上、罪人の人が・キリストが十字架を背負られなかった時にその中で一緒に打ち込まれなくて死んだものとみなされます。そして一面は復活したイエスが聖霊にいらっやってその人の中にいます。そして、新しい生命をくれます。この新しい生命は永生です。“キリストが、わたしたちのうちに生きておられるのである”という言葉深く認識することになると生活に様々な変化が従うこととなります。神々しくて矜持を持つようになります。また、キリストを中心に生きるようになります。“神様を嬉しいようにするために”と神様がとういさせるために、“という目標を持つようになります。また、キリストが主張する生活をするようになります。それで神様に問うことを楽しみます。“神様、私が何をしましょうか?”と聞きます。私が生きることがなくて私の中にイエスが生きてくことはイ

エス様が主張する生活をするを言っているのです。これは私が中心ではなく神様が中心となる生をいけることです。

最後に、“わたしがいま肉にあって生きているのは、わたしを愛し、わたしのためにご自身をささげられた神の御子を信じる信仰によって、生きているのである。”という言葉をご覧ください。

キリスト人は感情と状況に支配されずに、“私を愛し、私をために自分の体を捨てた神様の息子を信じる”信念で生きていきます。キリスト人の信頼は自己暗示と訓練による信念がありません。キリストの愛に基づく信頼です。“私を愛し、私をために自分の体を捨てた神様の息子を信じている信念で暮らしている。”は意味はこうなんです。イエス様が私をためにほどこしてなしたことを信じている信念で生きる意味です。また、イエス様が私の祈りを聞いて助けてくれたことを信じている信念で生きる意味です。また、イエス様が約束した言葉は残らず共に達成されることを信じている信念で生きる意味です。イエスは私たちが入る父親の家についてそして再臨と関連して幸福な約束をくださいました。このような信念で生きていけば否定的な考え方や状況を十分に克服することになります。寂しくないで挫折と絶望しない、恐怖にとらわれず、いつも望みと平安と喜びを持って生きるようになります。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム『緑の牧場、清い川』本の語り中」



## 神霊な判断と分別



恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

人々は学ぶことと経験を通じて分別力が育ちます。しかし人の知識と経験には限りがあります。その限りを越そうとすれば聖書に記録されたお言葉をきかなければならないし聖霊様の助けを受けなければなりません。そうではなければいくらずぐれた知識人であると言っても神霊な事についてはまったく分別することができません。コリント人への第一の手紙、2章に記録されるのを「しかし、聖書に書いてあるとおり、「目がまだ見えず、耳がまだ聞かず、人の心に思い浮びもしなかったことを、神は、ご自分を愛する者たちのために備えられた」のである。そして、それを神は、御霊によってわたしたちに啓示して下さったのである。御霊はすべてのものをきわめ、神の深みまでもきわめるのだからである」（コリント人への第一の手紙 2:9,10）としました。今日は聖書と聖霊様によって分別することができることにに関して調べて引き継いで私たちが直面することと状況に対してどのように分別しなければならぬかをよく見ます。

**先ず、聖書と聖霊様によってさえ分別することができることにに関して調べます。**

**第一は、究極的な質問に関する。**

あらゆる人々が自分がどこから来てどうして住んでどこに行くのかという質問 すなわち存在の原因と理由と目的に対する質問に正しい答を持っていません。遠い昔に偶然に途方もない密度と熱を持った限り点が大きく爆発して宇宙が生ずるようになったし、長年の歳月が経った後偶然に結合された化学元素でできた単細胞が進化されて多様な生命体が出来たという理論を信じる人々がいます。彼らが信じて主張するこんな知識を持ってからはいくら研究しても人生が持つ究極的な質問に対する正しい答を得ることができません。自分の知恵で神様が分かるうとして、救いの真理が分かるうとすることはまるで神様が隠したことを探そうとすることに違いないです。しかし子供のように神様のお言葉を素直に受ければ創造主に会います。そんなにすれば万有の存在根源と理由と目的を分別するようになります。万物は聖三位の神様によって存在して神様のために存在することが分かるようになります。

**二番目は、救いに関するのです。**

聖書に記録されたお言葉と聖霊様の教えを受ければ人間がどうして罪人なのかを分かるようになります。罪人は神様の怒りの下において結局に審判を受けて滅亡するようになるということとその滅亡が地獄の刑罰というのが分かるようになります。

そして罪人がどのようにして救いを得るようになるかを分別するようになります。アダムは犯罪によって人間の知恵は愚かになりました。霊的なことに対して認識する能力を喪失してしまいました。だから人間の頭脳で神様と救いに対して分かるうとすることはまるで目で音をきこうと努力することに違いないです。道を磨いて修養すると見えるのではないです。コリント人への第一の手紙に記録されるのを「この賜物について語るにも、わたしたちは人間の知恵が教える言葉を用いないで、御霊の教える言葉を用い、霊によって霊のことを解釈するのである」（コリント人への第一の手紙、2:13）としました。救いの恵みと真理は聖書に記録されたお言葉と聖霊様の教えを通じて分別するようになります。

**次は、私たちが直面することと状況に対してどのように分別しなければならぬかをよく見ます。**

ヤゴブとヨセフを比べて見ます。自分が直面するさまざまな事態に対する判断と分別によってその人の心霊の状態と仕事の結局にどんな差があるかをよく見てください。ヤゴブは十二息子を産んで育てました。その中に十一番目の息子であるヨセフを特別に愛しました。これによって兄たちがヨセフをねたみで燃えました。遠い野原で羊飼いをしている息子を調べようとお父さんがヨセフを彼らに送りました。兄たちはヨセフを見ると殺そうと試みてからエジプトに下がる商人に売ってしまいました。それから彼らがヨセフからむいた彩色服をやぎの血に濡らしてお父さんに持って見えました。ヤゴブが血に濡らした服を見て自分の服を裂いて自分の腰にかけて多くの日の間に息子のために哀哭しました。ところで実はヨセフはエジプトで13年後にエジプト王の寵愛を受けるようになって総理の席に上がるようになったのです。アフリカ北部の地域とパレスチナ全域にかけて飢饉が迫って来たがヨセフが神様が与えた知恵で豊年の時にあらかじめ穀物を保存しておいたからエジプトは糧穀が豊かでした。各所からエジプトに糧穀を買おうと人々がエジプトで寄り集まりました。ヤゴブも糧穀を買って来るように息子をエジプトに送りました。ヨセフはその兄たちを見知ったが兄たちはエジプトの総理がヨセフとは全然思うことができなかつたです。ヨセフは兄たちの心が正しく変わったのかを試して見た後自分がヨセフという事実を知らせました。そしてお父さんと彼らの家族たちをエジプトで連れて来るように指示しました。息子が無事に帰って来るのを待ちわびているヤゴブに帰って来た息子が思いがけない朗報を伝えました。ヨセフが生きていてエジプトの総理になったということです。ヤゴブは到底その話が信じられなかつたです。しかしヨセフが送った車を見てから信じるようになりました。ヨセフは少年時代に奇妙な夢を見た後に夢に見たことを話しました。「わたしたちが畑の中で束を結わえていたとき、わたしの束が起きて立つと、あなたがたの束がまわりにきて、わたしの束を拝みました」その話をきいたヨセフの兄たちはヨセフを憎みました。ヨセフが他の夢をまた見てそれを兄たちに言いました。「わたしはまた夢を見ました。日と月と十一の星とがわたしを拝みました」ヤゴブがヨセフを叱りながら言うのを「あなたが見たその夢はどうなのか。ほんとうにわたしとあなたを拝むのか」兄弟たちは彼をねたんだ。しかし父はこの言葉を心にとめた。」しました。

聖書に記録されるのを「兄たちは彼を嫉んだが、お父さんはその言葉をおさめた」としました。ヤゴブはその夢が未来に対する予言的な夢に認識されたからです。ヤゴブはその夢話をずっと心に留めている途中ヨセフに関わる事件を分別する基準にしなければなりません。もしそうであったらそのように極甚な哀痛と歎息をしなかつたはずであるし度が外れるようにひどい懸念をしなかつたはずです。

一方にヨセフは彼の少年時代に神様が夢を通じて下さった約束を胸に抱いて暮して来ました。神様が下さる約束を忘れないで固くつかんだから波乱万丈した過程をよく耐えて行きました。死ぬ危機を経ました。不慣れなエジプト地でもべの生活をしました。濡れ衣を着せられて投獄されました。暗たんたる境地でも彼の心にある神様の下さった夢は彼の前を照らし燈でした。ヨセフは信実な下さった神様と神様が下さる約束として彼が直面することと状況を分別しました。そんなにしたから希望と胆大さと誠実に一貫された生を生きて行きました。現実が彼の期待とは正反対に進行される時でもヨセフは絶望しなかつたです。神様がどのように約束を成して悪を善に替えるかを察しながら忍耐しました。ヨセフの判断と分別が正しかったということを神様が結局には証明してくださいました。歳月が経ってヤゴブが死にました。盛大に葬式を済ませました。葬式が終わった後ヨセフの兄たちはヨセフが彼らに仕返ししようと思うのではないかと大きく気づかいました。するとヨセフが兄たちに言いました。「恐れることはいりません。わたしが神に代わることができましようか。あなたがたはわたしに対して悪をたくらんだが、神はそれを良きに変らせて、今日のように多くの民の命を救おうと計らわれました。それゆえ恐れることはいりません。わたしはあなたがたとあなたがたの子供たちを養いましょう」。彼は彼らを慰めて、親切に語った。」この言葉は神様に対するヨセフの信仰告白で証しです。このような意味を持ったお言葉が新約聖書ローマ人への手紙、8章28節にあります。「神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。」聖徒の皆さん、私たちはヨセフの夢よりもっと確かな分別基準を持っています。族長と信仰の偉人の生涯を通じる実験的な結果を遺産で受けました。なおかつイエスキリストの死と復活と天の昇りが聖書どおり成就した以後に暮しています。聖霊で充滿して生きて行くことができる時代に暮しています。多くの約束が記録された聖書を持っています。だから私たちが神様を相変わらず愛して神様のお言葉に従って生きて行っている以上何の事に会おうが「これはすべて私をよくすることだ」と言うのが適当です。神様は全知全能なことで無所不在なさりながら永遠です。公義と愛で治めて面倒を見ます。善良で真実です。そして私たちに貴重で恵まれた約束をくださいました。皆さんの人生のみちに何の事に会っても神様の前に立つ日すべてのものが合力して善を成すようになったことが分かるようになるでしょう。

聖徒の皆さんはこの世の中を生きる間に皆さんが直面することと多くの状況に対して神様の品性と口約束のお言葉を持って分別してください。何の事に会おうが「これはすべて私をよくすることだ」神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている」このように言ってください。皆さんがこのような判断と分別が正しいということを神様が証明してください。それを体験するようになるでしょう。